

◎Profile

昭和13年3月28日生まれ、75歳。穀町出身。25歳のとき父親の「映写真館」(現あかつきスタジオ)を継ぐ。現在東北六県写真師連合会参与を務め、後進の育成などにあたっている。

(有)あかつきスタジオ
(新穀町6-29)
代表 小原武おぼらたけしさん



お客様の大切な一枚を撮り続けて50年 岩手県卓越技能者表彰(写真工)を受賞

「被写体の『良さ』を引き出す写真にすること。そのためには持ちうるすべての技術を出し切らないと。撮影現場は常に戦場です」。柔和な笑顔の奥に、かけがえのない一枚に懸ける厳しい姿勢をのぞかせる。

平成25年11月、市内で過去に4人しか受賞していない県卓越技能者表彰を受賞。肖像写真の撮影に優れ、県写真技能士会会長として会員の育成にも貢献していることなどが認められた。

写真との出会いは中学生のころ。写真屋の父の手伝いを始めたのがきっかけで、幼いころから現場に触れてきた。後を継ぐつもりはなかったが、意識するようになったのは高卒後の東京での暮らし。写真とは関係のない仕事に疑問を感じた。帰郷後は2年間、盛岡の写真屋に弟子

入り。ひたすら現場を学んだ。現代のデジタルカメラと違い、撮影から現像まですべての過程で特別な技術を要するので、独学にも精を出した。東北や県内の研究会があれば積極的に参加し、撮影から現像、修整などの技術を積極的に学んだ。

積極的にコンテストにも応募した。受賞することが仕事への励みにもなった。これまでの最高賞は「東北六県写真師大会写真コンテスト」の「文部大臣奨励賞」。「群像」がテーマで、市内で働いていた3人のフィリピン人がモデル。偶然見掛けた彼女の豊かな表情に引かれ、その瞬間を切り撮った。

特にもこだわっていることは照明を人物にあてるライティング技術。光りの当て方一つで人の印象は変わる。その人「らし



集合写真撮影での一コマ。参加者に笑顔を促す小原さん

さ」を見つけ出し、何度も光を調整する。

これまで七五三や成人式、結婚式など、人生のかけがえのない節目を撮り続けてきた。予約なしの急な来客もあったが、同じように手を抜くことはなかった。お客様がいつまでも手元に置きたくなるような「大切な一枚」を撮るため、今日も現場に立つ。

今月の見どころピックアップ!

スキー大会にご参加を
▶▶▶ P25



市消防団が内閣総理大臣賞
▶▶▶ P18

新春特別企画
▶▶▶ P2



国体へ向け始動!
▶▶▶ P21

ミニバスチーム結成!
▶▶▶ P29



目次

- 02 午年にまつわる皆さんに、抱負を聞きました!
- 05 クローズアップ
写真の技術が認められ、県卓越技能者表彰を受賞した小原武さんを紹介
- 06 市長所信表明演述要旨
- 08 民生・児童委員の紹介
- 13 市・県民税申告説明会日程
- 16 総合カレンダー
- 18 各種表彰者紹介
市消防団が内閣総理大臣賞 ほか
- 20 ニュース&トピックス
二日町小友線開通/いわて国体実行委設立/火災人命救助者を表彰 ほか
- 22 図書館・博物館、放射性物質濃度測定値のお知らせ
- 24 学びのいずみ
とすば大学祭/清養園スケート場からのお知らせ/市民スキー大会 ほか
- 26 インフォメーション
- 28 まちの話題
小友小親子料理教室/にぎやかコンサートに幕/遠野ミニバスチーム結成 ほか
- 30 みんなの広場
- 32 青春のトーク ほか

2014 NO. 103

広報遠野 1

■市の人口(11月末現在)
男性:14,148人(-5人)
女性:15,278人(-21人)
計:29,426人(-26人)
世帯数:10,852戸(+1戸)
※()内は前月比

■刑法犯総件数(平成25年1~11月)
51件

■交通事故発生件数(平成25年1~11月)
発生586件 負傷者63人 死者3人

■火災発生件数(平成25年1~11月)
建物4件 林野その他14件 計18件

■救急車出動回数(平成25年1~11月)
1,018回

地域のさまざまな情報をお寄せください



市へのご意見・ご提言、広報へのご感想など、皆さまからの情報をお待ちしています。各地区センターや市の公共施設に「市政なんでも相談箱」(左)を設置しています。ぜひ、ご利用ください。